

酒々井町特別職報酬等審議会
[第3回会議記録]

1. 日 時 令和2年1月31日(金) 午前10時から
2. 場 所 酒々井町役場中央庁舎3階会議室
3. 出席者 会 長 秋山義継
副会長 川島貞夫
委 員 宮野孝雄、齋藤甲一、藤崎美津江、桜井照嘉
事務局 大塚総務課参事、越川総務課副参事

4. 議 題

- (1) 会議録及び会議記録について
①第2回審議会会議録について
②第1回及び第2回審議会会議記録について
③第3回審議会会議録及び会議記録について
(2) 答申(案)について
(3) 今後の報酬等審議について
(4) その他

5. 主な意見等

- ・ 議員は今後の社会経済情勢や町の財政状況を読み取って、議員としての役割を果すべきと考える。
- ・ 報酬の審議にあたっては、議員定数が如何かという論議になるという認識をしてもらいたい。
- ・ 実は定数の問題が大きいと思う。横芝光町は合併して定数16人。人数を相当減らしたと思う。議員定数は議員が決めるものであるが、報酬と議員定数は関連がある。
- ・ 今回の答申を議会に投げかけて、その後、議会、議員がどうしたか検証するような会議は意味があると思う。
- ・ 審議会の開催は定期的ということではなく、状況に応じて開くべきと思う。
- ・ 今まで、審議会を開催しなすぎとは思いますが、そうなると、ある程度定期的開催ということになり、報酬額を上げる、下げるという諮問ではなく、今回のように現状の額についての諮問も有り得るということとなる。
- ・ 諮問の時期等については、このような委員の意見を聴いてもらった上で、町長に様々な角度から判断してもらいたい。